

# 高校受験に関し、県内中学校で行われている間違った指導の是正を求める申し入れ書

2010年6月3日

日本共産党内子町議 宮岡 徳男  
日本共産党愛媛県議 佐々木 泉

愛媛県教育委員会委員長 井関 和彦 殿

今春、南予地域の高校受験生をもつ家庭が中学校の教師から次のような指導を受けました。それは、この受験生がある私立高校を受験し、引き続いて県立志望高校の受験を控えた時期でしたが、在籍する中学校の教師から、「残念ながらこの私立高校には不合格だ。しかし、もし県立高校の受験を辞退するなら、合格することができる」と伝えられたというものです。

合格発表以前に、在籍校の教師とはいえ第三者に生徒の不合格を伝えるというのは、入試の公平からみて問題ですが、県立受験辞退と交換条件に不合格を合格に変えるなどということは、入学試験の意義を否定するに等しいものです。また、うがっていえば、合格した生徒を県立に行かせないため、不合格と偽って伝えたのではないかとさえ疑われます。

生徒数減少への対策として、私立高校が生徒確保に力を入れることは理解できますが、合格不合格を恣意的に行なって受験生を翻弄することは許されませんし、これに中学校の教師を巻き込むなど言語道断です。私どもが関係者から話を聞いたところ、南予一円でここ20年ほど、このようなことが続いており、中学校教師からも止めにしてほしいとの切実な声がありました。

そこで、このような誤った事態をただすため、以下のように申し入れます。

- 1、 県教育委員会として事実を究明し、実態を把握すること。
- 2、 私立高校に対して、合格発表以前の合否通知をしないよう求めること。
- 3、 中学校に対して、このような誤った事態を招かないよう指導すること。

以 上